



“お月見どろぼう”ごっこ 遊び方



◆準備するもの

●おだんご 15個×3セット

紙を丸めたもの、紙粘土でつくったものなど、子どもたちで思い思いに手作りすると良いでしょう。

例) 白×15個

赤×15個

黄×15個

※おだんご、さつまいも、かぼちゃ、などでもOK

●三宝(なければ、籠やお盆)×3個

◆遊び方

① 子どもたちを3チームに分け、おだんごの色を決める。

② チームごとに三宝を置く場所を決め、三宝に色だんごを盛り付ける。(できれば、最下段に9個、2段目に4個、最上段に2個)

ゲームを始める前に、みんなで「おっ月見、おっ月見、おっ月見どうぞ!」と言いましょう。

③ プレー開始!自分のチームの三宝から色だんごを手にとり、他のチームの色だんごと“交換(盗り合い)”しに行く。

他のチームと色だんごを交換する時は、「お月見ください」と言いましょう。

④ “交換した(盗った)”色だんごを自分のチームに持ち帰り、三宝に飾る。

ルール

◎ プレー終了と宣言されるまでは、**何度でも交換しに行くことができる。**

◎ 自分のチームの三宝に飾られた色だんごであれば、**何色を持ち出しても良い。**

⑤ 時間を決めて「おわり」が宣言されたら、プレー終了!

手に持っている色だんごがある場合は、自分のチームの三宝に飾る。(※どのチームもおだんごは15個となる)

◆勝敗

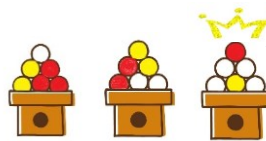
自分のチームの三宝に飾られた、それぞれの色だんごの数を数える。

自分以外のチームに、一番多くおだんごを積んだ色チームが勝ち。

(自分たちの色だんごをたくさん“盗ってもらった”方が勝ち)

例えば… それぞれのチームの三宝に、以下の数の色だんごがあった場合、[白チーム]が勝ち。

[白チーム]	[赤チーム]	[黄チーム]
黄 5個	白 4個	白 9個
赤 8個	黄 8個	赤 4個
白 2個	赤 3個	黄 2個



白チームは黄色チームに、どこよりもたくさんのだんごを“盗ってもらった”から勝ちだよ!

【上級編】

上記の遊び方は、年少児を想定した初級編です。

①～③同じで、年長児向けの上級編では「交渉」が加わります。

④ 色だんごを交換する時、必ず**色の異なる3人で組む**。

⑤ 組んだ相手に対し、**自分がどの色が欲しいのか指定する**。

⑥ 3人の欲しい色が被っていないければ、そのまま交換できる。

欲しい色が被った場合は、**誰がその色をもらうか、決める**。

⑦ 時間を決めて「おわり」が宣言された時点で、交換を終了する。



3人でモめることなく、どうやって色を交換できるかな?

- ・ 話し合いで相手を説得?
- ・ ジャンケン?
- ・ 交換したい相手に(どっちと交換するか)決めさせる?

ルール1

交換相手と組む時は、**3人とも色が異なる**こと。同じ色の人と組んだらダメだよ。

ルール2

一度3人で組んだら、必ず3人で交換を完了してね。
※意見が合わないから、**交換せずに他の人と組み直そう、**というのはダメだよ。

ルール3

一度交換した色だんごは、必ず自分のチームに持ち帰り、飾ってね。
飾ってある色だんごは、**どの色を、何度、交換しに行ってもOK。**

努力目標

何度か交換に行く場合は、できれば、**一度も交換したことがない3人で組んでみよう。**

さらに上級!

チーム(色)の数を増やしてみたらどうか。

組んだ相手との交渉はより難しくなり、おだんごの色もよりバラけるよ。

この遊びは、「ください」「どうぞ」という、ごく初期の“交渉”から、「それがほしい」「どうしたらもらえるか」「どうしたらとってもらえるか」という「駆け引き」、複数人の意見をまとめる“平和的解決”、数を捉える“量的感覚”、先を見通す“統率力”など、プレーヤー次第でいろいろ能力を刺激することができます。その年齢にあった進め方で、**園の行事として、レクリエーションとして、ぜひ楽しんでください**ね。

動物たちの声

♪おっ月見、おっ月見、おっ月見だんご♪
まあるい、まあるい、まあるいだんご♪
ぼくら、お月見どろぼうだーい♪
おっ月見、おっ月見、おっ月見くださーい♪

* 間をあける *

たぬき

ポン、ポン、ポンったらポン。
今日は十五夜、お月見だい。
お月さまみたいな、まあるいだんご。
たぬきどんの、おだんごだい。

ふくろうの声

ほーう。ほーう。ほーう。

ナレーション

今日は、お月さまが、一番まあるく、明るくなれる夜。たぬきさんは、大好きなお月さまに、お供えをする、おだんごを作りました。

たぬき

よし！ できたぞ。
おだんご15個。器にのせて。
おーっとつと！ 転がらないようにつと。
ちよつと真ん中、へこませて、と。

たぬき

できた。できた。
あと、ススキを飾れば、完璧だ。
むふふ。お月さま、喜んでくれるかなあ。

* 間をあける *

きつね

たぬきどん、たぬきどん。

たぬき

ん？ 誰だ？

きつね

オラっち、きつねっちだ。

《演出メモ》

※リズムカルに節をつけてください

※リズムカルに節を付けると読みやすいです

ウツトリする

観客の注意を引くように